



耕人塾第9期閉塾式

成長感じる発表続々と

コロナ禍でも学び充実

中高生が人間力を育む「耕人塾」(木村民男塾長)の第9期閉塾式が12日、東松島市の矢本東市民センターで開かれた。石巻地方などの17中高校約25人が修了。「世界に誇れる石巻地域にしよう」発信!「未来へ」をテーマに成果発表も行った。

今期は新型コロナウイルスの影響で昨年より2カ月遅れの7月に開塾式を行った。その後、外部講師を迎えての講演、地域に繰り出塾生たちが今期の学びを発表し合った

してゴミ拾い活動や植樹作業にも協力し、短期間ながら充実した学びを続けてきた。

最終回のこの日は中高生約20人が出席。活動発表では、生徒たち

が映像やイラストを交えながら、スイーツマップの取り組み、演劇の収益化、石巻の観光名所などをまとめた内容を発表した。

このうち桜坂高校3年の品川美香さんは学校内で最も使用されているSNSについて調査。インスタグラムの利用者数が多いことを確認し、独自のアカウントを用いて石巻圏域のスイーツ店を紹介するマップを制作。今後

は「多くの人にアカウントをフォローしてもらえれば、石巻のスイーツを広く周知できると意欲を燃やした。

その後、出席生徒に木村塾長から修了証が手渡され、閉塾。木村塾長は「成長を感じる発表であり、来年につながる活動。塾生はさまざまな場所が必要とされる人間になれるよう頑張ってもらいたい」とエールを送っていた。

【横井康彦】